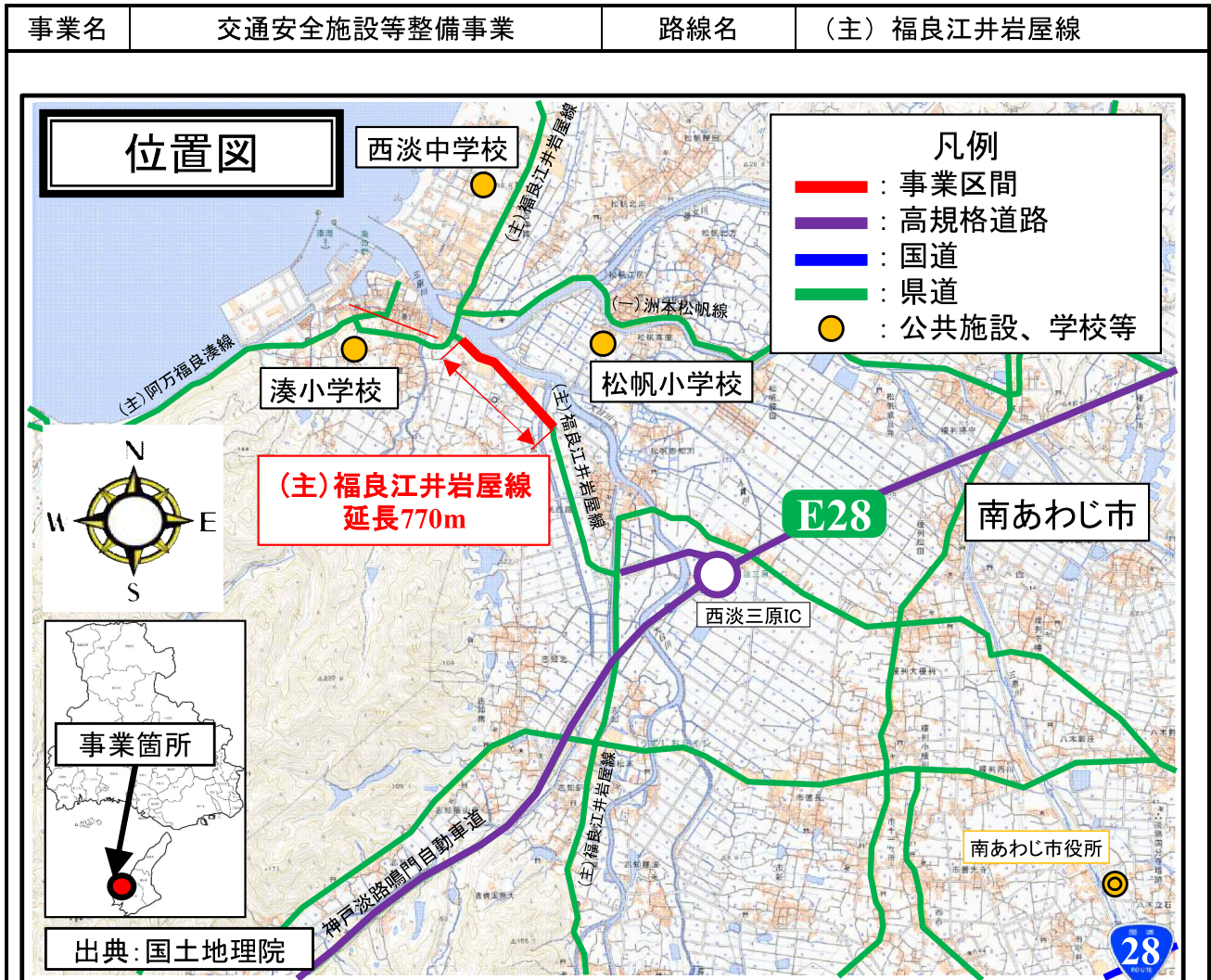


令和6年度 投資事業評価調書（継続：再評価〔第2回〕）

部課室名	道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 志茂 大輔 (県道班長 勝山 賢一)	内線	4362 (4376)
事業種目	交通安全施設事業	新規評価年度	平成21(2009)年度	現計画	前回評価時点
事業名	主要地方道 福長江井岩屋線	事業採択年度	平成22(2010)年度	総事業費	12億円
		着工年度	平成22(2010)年度	内地補償費	5.2億円
		再評価年度	令和元(2019)年度	完成予定年度	令和9 (2027)年度
事業区間	南あわじ市 ^{みたと} 湊	進捗率 (用補進捗率)	70% (100%)	56% (77%)	
		残事業費	3.5億円	3.1億円	
事業の目的				事業内容 ()新規評価時点	
<p>○安全な歩行者空間の確保 本路線は交通量が多く、幅員狭小であり、一部歩道がなく危険である。通学児童は迂回を強いられているため、歩道設置により、歩行者の安全な通行空間を確保する。</p> <p>○自転車利用者の安全確保 現道は自転車の走行空間が確保されていないため、幅広路肩を設置し、自転車利用者の安全な通行を確保する。</p>				<p>【延長】 770m 【構造規格】 第3種第2級 【計画幅員】 車道 9.5m [全幅 18.0m] 【現況交通量】 [R6 実測 (R1 実測)] 自動車： 8,341 台/日 (7,596 台/日) 自転車： 87 台/12h (145 台/12h) 歩行者： 6 人/12h (7 人/12h) 【費用負担割合】 国：55%、県：45%</p>	
事業を取り巻く 社会経済情勢等 の変化	<p>隣接工区の湊 I 工区（御原橋北詰～湊交差点南側）240m が令和2年度に完成しており、一体的に整備を進めている。</p> <p>【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】 ①橋梁拡幅に伴う樋門・水路移設の追加、補償内容の変更、物価上昇により事業費を5億円増額する。 ②補償内容の精査、また、樋門及び水路の移設の協議に時間を要したことから、完成予定年度を令和9年度に変更する。</p>				
進捗状況	<p>①終点側100mは工事を完了している（R3.9）。 ②水路移設が令和6年度に完了する見込みである。 ③令和7年度から橋梁拡幅工事に伴う橋梁下部工に着手する。</p>				
評価視点	評価結果の説明				
審査会意見及び 対応方針 (R1年度再評価)	【審査会意見】 継続妥当	【対応方針】 -			
(1)必要性	<p>①当該区間は南あわじ市湊地区の中心に位置し、近隣には学校、拠点避難所に指定されている湊地区公民館、温浴施設、大型商業施設及び住宅が立地している。 ②西淡中学校の通学経路であるが、歩道が未整備の区間があり、一部既設の歩道や路肩も狭く、歩行者・自転車が車と輻輳し危険である。</p>				
(2)有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>①歩行者と自転車の適正な通行空間の確保により、双方の安全が確保される。 ②用地補償は完了しており、地元の早期完成への期待は大きい。</p>				
(3)環境適合性	<p>①歩道舗装には、雨水が地中に浸透する透水性舗装を採用し、地下水涵養を図る。</p>				
(4)優先性	<p>①中学生の自転車利用が多く、当区間は南あわじ市の「通学路交通安全プログラム」に歩道整備が位置づけられているため、早期整備を行い自転車・歩行者の安全を確保する。 ②終点側100mが完成しており、地元住民からも早期整備を望む強い要望がある。</p>				
再評価 の結果	継続	左の理由	事業の必要性は事業採択時と変わらず、南あわじ市の「通学路交通安全プログラム」に本事業が位置付けられており、地元の期待も大きく事業の執行環境も整っていることから、継続して事業を実施する必要がある。		

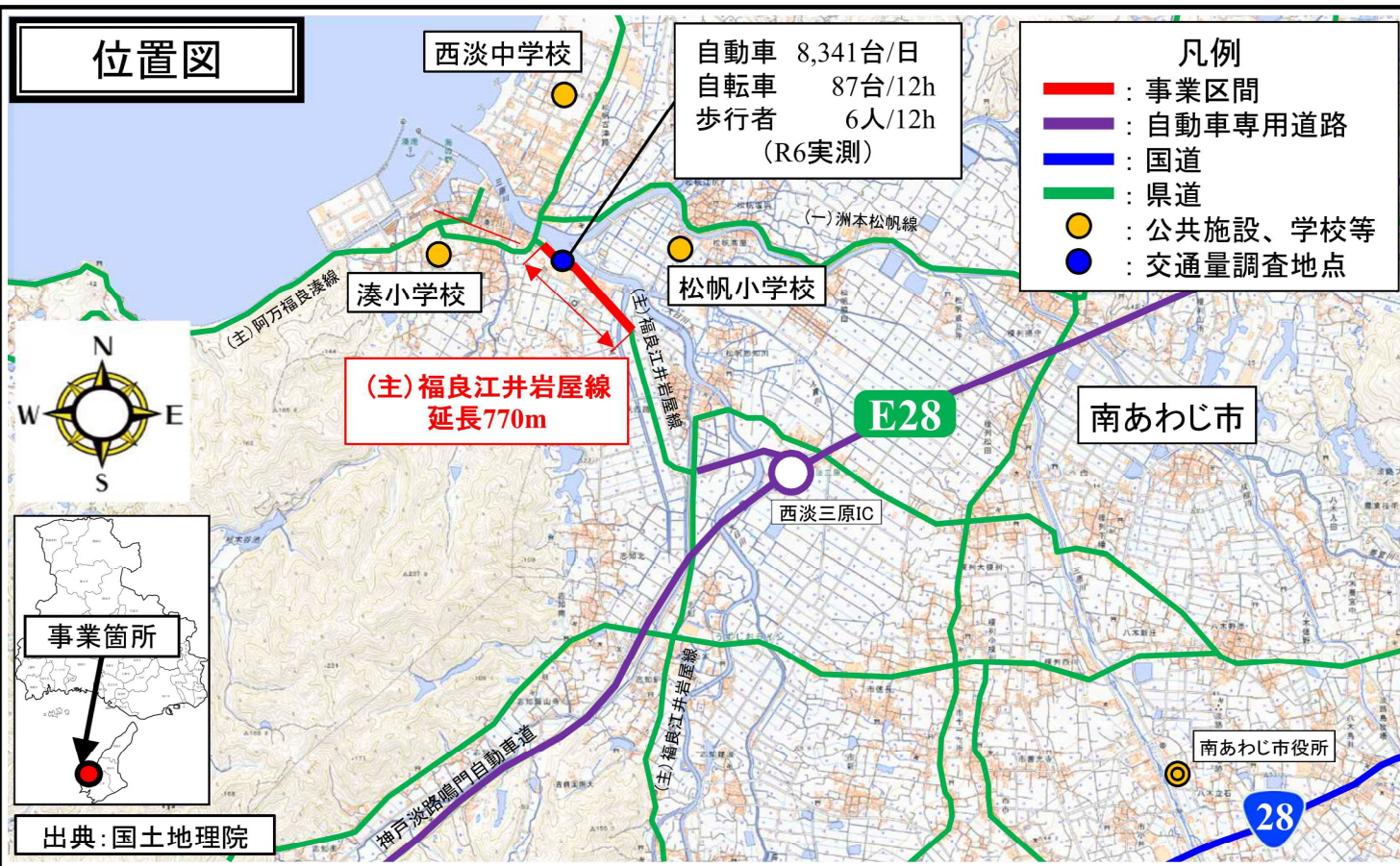
事業進捗状況概要図（継続：再評価〔第2回〕）



	事業進捗状況・予定	整備効果
全体 H22(2010) ～ R9(2027)	【事業費＝12億円】 延長 770m 用地：約 4,200 m ² 、物件：12 件	
前回再評価 まで (実績)	【事業費＝3.9億円】 ① 事業進捗率 56% ② 用地補償進捗率 77% ・用地取得面積：約3,200m ² 、物件補償：7 件	
過去 5年間 R2(2020)～ R6(2024)	【事業費＝4.6億円】 ① 事業進捗率 70% ② 用地補償進捗率 100% R3 終点側 100m の歩道整備、樋門移設工事完了 R4～R6 水路設置工事	工事完了区間を部分供用することで、一部で歩行者・自転車の安全が確保できた。
今後3年間 (予定) R7(2025) ～ R9(2027)	【事業費＝3.5億円】 R7 橋梁拡幅（下部工） R8 橋梁拡幅（上部工） R9 歩道整備工事	工事を完成させることで、一連区間で歩行者・自転車の安全が確保できる。

交通安全施設等整備事業（主）福良江井岩屋線（継続：再評価〔第2回〕）

位置図



目的

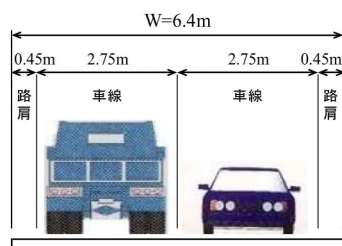
- ①安全な歩行者空間の確保
- ②自転車利用者の安全確保

事業概要

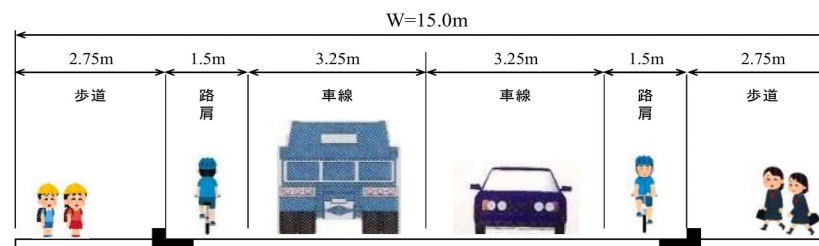
事業区間：南あわじ市湊
 総事業費：12億円
 内用地補償費：5.2億円
 事業期間：H22～R9
 事業概要：歩道設置
 延長：770m

横断図

現況



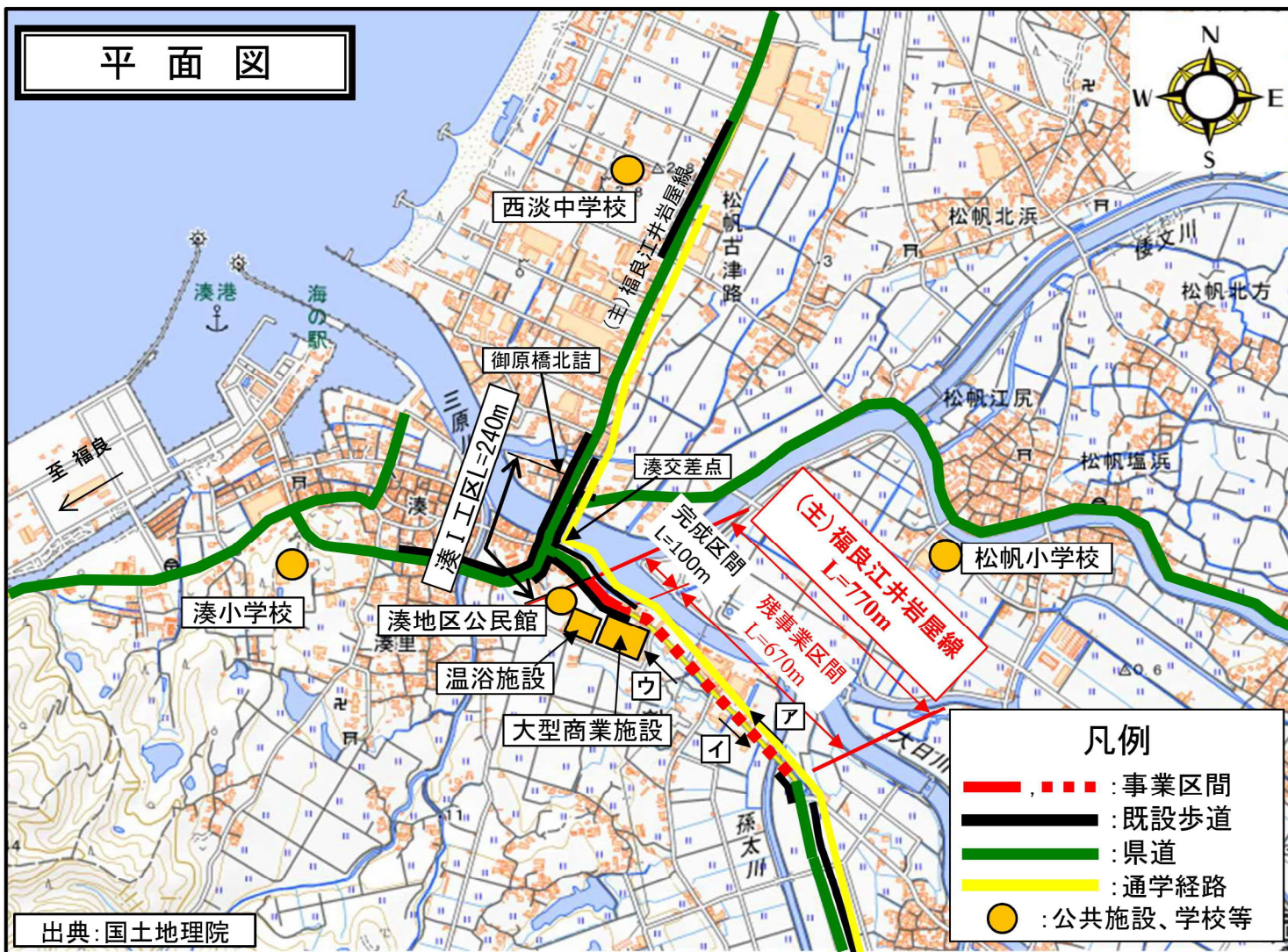
計画



事業の必要性・優先性

- ①当該区間は、南あわじ市湊地区の中心に位置し、近隣には学校、拠点避難所に指定されている湊地区公民館、温浴施設、大型商業施設及び住宅が立地している。
- ②西淡中学校の通学経路であるが、歩道が未整備の区間があり、既設の歩道や路肩が狭いため、歩行者・自転車が車と輻輳し危険である。

平面図



現況写真

①路肩が狭く通学自転車危険



②路肩が狭く通学自転車危険

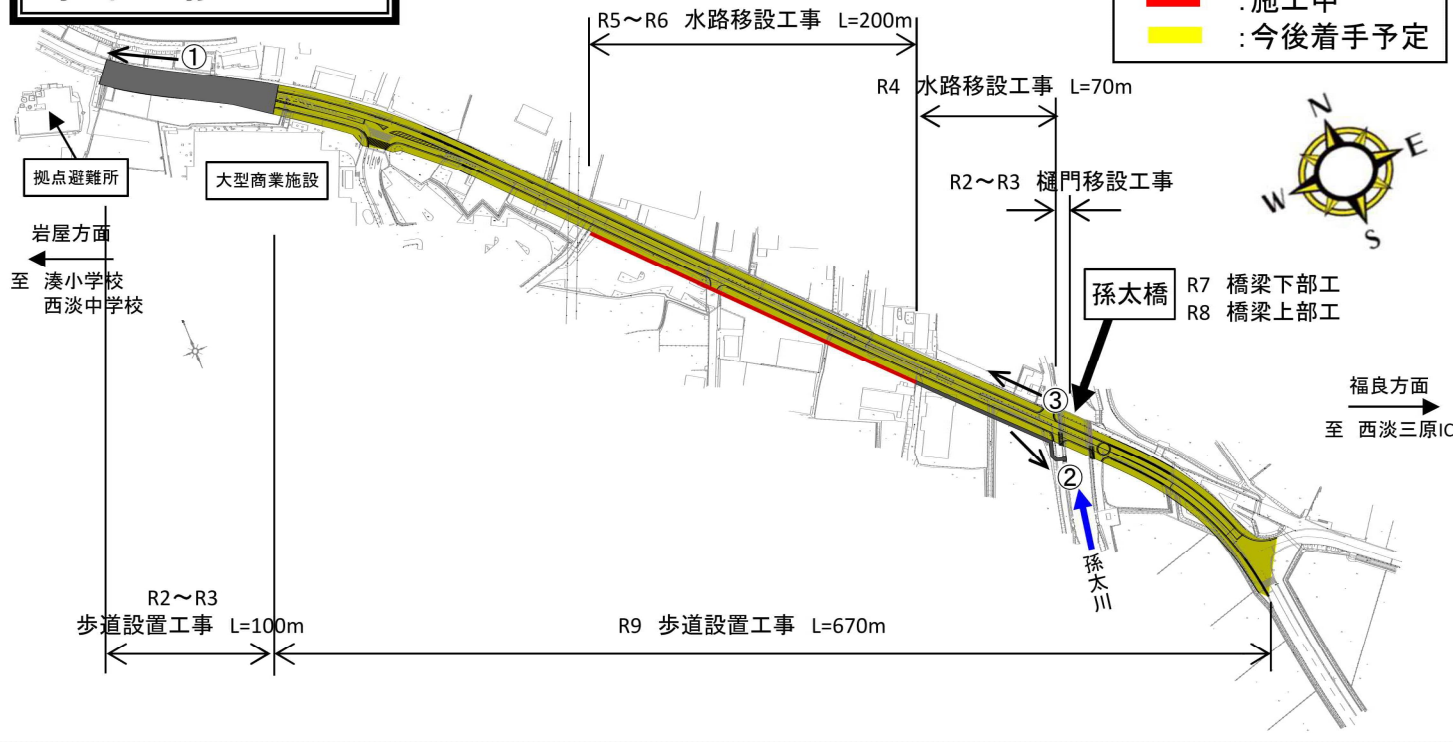


③車道に自転車の走行空間がなく危険



進捗状況

事業進捗平面図



工程表

: 前回計画
 : 実施・計画

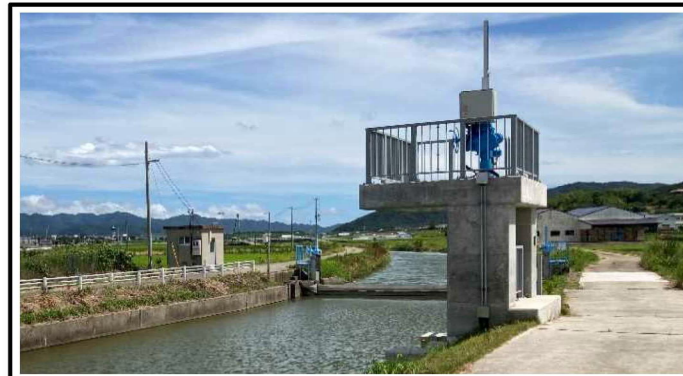
工種	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
調査・設計	■									■								
用地補償			■															
道路改良										■	■							

整備状況

①部分供用済みの区間



②橋梁拡幅に伴い移設した樋門



③工事進捗状況(水路の移設)

